

第5章 環境を思い行動する人づくり

第1節 学校における環境教育の促進

1 学校における環境教育・学習

(1) 環境教育・学習教材「エコワークブック」

【環境政策課】

平成20年度に先生方の意見を踏まえながら、県内の小中学生を対象とした本県独自の環境教育用教材「エコワークブック」を作成し、平成21年度にすべての小中学校に配付しました。

エコワークブックは、学校での教科や総合的な学習の時間や校外学習の時間に活用されています。写真や図版がカラーで見やすく、福井県のデータが掲載されているので、調べ学習や身近な生き物調べに役立つと好評を得ています。

また、今年度は、「SATOYAMA国際会議2013 inふくい」が開催されたことを契機に、「エコワークブック里山特集号」を作成しました。

これは、小中学生が、「里山とは何か」、「里山の何を学習すればよいのか」を自由研究できる手引書として作成されています。今年度は、7月上旬に県内全小中学校へ配布し、夏休みなどの長期休業中や授業において活用し、里山の素晴らしさを学習していただきました。

なお、今後、さらに環境教育を系統だてた学習ができるよう、学校における年間指導計画の中に位置付けていけるよう検討しています。

表5-1-1 エコワークブック里山特集号配布部数

		児童生徒用	教師用
配 付 部 数	小学校低学年用	8,327 部	390 部
	小学校高学年用	8,816 部	404 部
	中学校用	8,648 部	335 部
	計	25,791 部	1,129 部
	合計	26,920 部	
配付校数		309 校	



エコワークブック里山特集号

(2) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小中学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

平成24年度は、中学校理科に、放射線等に関する内容が、30年ぶりに復活したことを受け、放射線教育等の充実のため、簡易霧箱や放射線測定器等を購入し、授業を行いました。

また、平成25年度は、ソーラー発電や風力発電を学習する教材などを活用した環境・エネルギー教育を進めています。

高等学校では、平成23年度、県立高等学校全31校を対象に、学校の特色に応じた環境・エネルギー教育の取組みを支援する「環境・エネルギー教育支援事業」を実施しました。

今後も、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

※事業対象 平成23年度：県立高等学校

平成24年度：小中学校

平成25年度：小中学校

表5-1-2 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	23年度	24年度	25年度
	高等学校	小中学校	小中学校
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	6校	0校	2校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	7校	5校	0校
エネルギー教育に関する資料・機材の活用方法の研究	29校	84校	89校